

ヤラセル據ニシヤウ」ト返事セリ

十一月二十日 (木) 自午前九時 第七十回連絡會議  
至午前十時半

「南方占領地行政實施要領」ノ審議並「十八日野村電」ニ對シ十九  
日外相ノ執リタル處置ニ關シ説明アリ

「南方占領地行政實施要領」ニ關シテハ陸海軍案ニ對スル外務ノ  
修正ヲ基礎トシテ審議セリ

審議ノ冒頭杉山參謀總長ヨリ左ノ通り要望スル處アリ

「支那事變ノ經驗ニヨル現地行政ニ關シテハ多元的ニ指導スル  
コト多ク極メテ面白カラサル結果ヲ來シ現在ニテモ此ノ害ヲ

多分ニ受ケテキル、之ニ備ミ南方行政ハ一元的ニ統轄シテヤ  
ル様ニ充分ナル考慮ヲ以テ審議セラレ度シ」

経緯次ノ如シ

「占領地域ニ對スル軍政運営機關ヲ政府設置ノモノニ轉換」ス  
ヘキ事ニ關シテハ、之ヲ方針中ニ入ルルヲ要スト外務大臣強  
硬ニ主張セルモ、過早ニ之ヲ行フヘキニ非ストテ依然備考トシ  
テ殘ス事トナレリ

(4)「現地軍政ノ重要事項ハ、連絡會議ニ於テ決定スル」事  
ニ關シテハ相當議論アリシモ外務案ヲ採用スル事トナレリ

又「中央ノ決定事項ヲ陸海軍ヨリ現地ニ指示スル」事ニ關シテ  
ハ、陸海軍案ヲ可トシ之ヲ採用ス

「民政關係ノ人員ヲ關係廳ニ於テ決定スル」件ハ、外務ノ主張  
アリシモ之ヲ削除セリ。「細目ニ關スル關係廳ノ協定」ハ當然  
ノ事トシテ削除セリ

右ノ如クシテ決定ス

三米國トノ交渉ニ就テ

外相ハ十七日十八日野村「ハル」會見ノ狀況ヲ一通リ説明シ左ノ  
如キ所見ヲ述ヘタリ

十八日野村ハ「通商問題ノ解決ハ時間ヲ要スルカ故ニ、先ツ双方ノ緊張ヲ解ク問題ヲ解決スルヲ適當ト認メ、南佛ヨリ撤兵シ之ニ對シ資金凍結ヲ解除スルコトトシ度シ」ト述ヘタリ

斯クノ如キハ一括シテ纏ムヘキ話ヲ部分的ニ纏メルモノニシテ、「此ノ機デハイカス」ト考ヘ取敢ヘス本朝「ハル」トノ會見前ニ當方ノ趣旨ヲ傳ヘ度キ意見ニテ、「開電アル迄「ハル」トノ會見ヲ待テ」ト電報シ其ノ後「一部デ話ヲ進メテ纏メル事ハ後害ガアル、此ノヤリ方ハ満足スヘキテナイ、野村カラ東京ニ私案ヲ提議シタラ東京ハ

乙案全部ヲ一括シテ纏メルノデナケレマイカスト言フ事ヲ四圍シテ來タト米側ニ明確ニ示シ今後ハ乙案ヲ交渉ヲ進メル様申シ付ケ

日支和平ニ關スル努力ニ支障與ヘストハ援蔣中止ト言フコトナリ  
三國同盟ハ自主的ニヤル、即チ米ハ獨ノ手先トナルト言フテキル  
カ帝國ハ自主的心組デヤル  
旨デアル事ヲ先方ニハツキリ通セヨ

ト明確ニ野村大使ニ電報セリ  
尙野村大使ニハ此ノ國內ノ緊張セル氣分カ充分ニ反映シ居ラス、

又米國ハ最近話カツクナレハ戰爭ヲ欲セサル様考ヘ出シタル如ク  
モ觀察セラルルモ、米國トシテハ輿論ノ關係モアリ折レテ日本ト  
妥結スル事ハ不可能ナリト思考ス

(丁)



十一月二十二日(土)

午後二時 午後四時 第七十一回連絡會議

開戦名目、對泰措置要領、對米交渉乙案ノ保障、ノ三件ニ就テ審議

ス

一、開戦名目

(4) 「中華民國」ノ字ハ不適當ナリ

「國利」ハ日清、日露ノ昭勅ニモアルヲ以テ尙研究ス

(4) 支及米ニ對シテハ將來行詰リトナラサル様著意スル要アリトテ

三ノ末項及三ノ初項ニ於テ若干修文

(4) 右ノ趣旨ニテ修文尙文章家ノ修文ヲモ加ヘ追テ決定スルコトト